

「バリア」の逆は「ありば」。
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

ありば

VOL. 29
2015



表紙 / 「sea paradise」 牧之瀬光夫さんの作品

昨年度の「肢体不自由児・者の美術展」で、特賞の「全国肢体不自由児者父母の会連合会賞」を受賞した牧之瀬さん(65歳)。先天性の脳性麻痺で両手が不自由なため、右足の指にペンを挟んで絵を描く。デイサービスで通う障害者支援施設「すみよしの里」が創作の場。独創性と繊細さに満ちたタッチで、頭の中のイメージを色彩豊かに抽出して描き出す。



CONTENTS

[特集]
身体障害者補助犬を
もっと知ってください

PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント
久保 貴志さん

PAGE 3

ありば通心
知的障害者バスケットボールチーム
鹿児島バルダース

PAGE 4

ハードルを越えて
谷口 拓也さん

PAGE 5

バリアフリー最前線
鹿児島港新港区

心の輪を広げる障害者理解促進事業

PAGE 6

鹿児島県からのお知らせ

- ・県子ども総合療育センターの就学児の初診の予約方法が変わります
- ・第15回全国障害者芸術・文化祭がごしま大会の開催について

